

個人事業主向け帳簿

Excel システム

— Capella —™

Ver.1.00

©2026 丸東製作所

-
- 概要 Polaris の仕訳帳へ入力するため、税込価格を本体価格と消費税額へ分離する Excel システムです。
 - 作者 丸東製作所
 - お問い合わせ marutouseisakusyo@gmail.com
 - 取り扱い種別 フリーソフト
 - 価格 無料
 - 送金方法 不要
 - 動作環境 Microsoft Excel 2016 / 2019 / 2021 (Mac 未確認)
Windows 10 / Windows 11
※スマートフォン版 Excel でも動作確認済みですが、一部表示や操作が PC 版と異なる場合があります。
※マクロ (VBA) を使用していません
 - 非推奨 Google スプレッドシート、LibreOffice Calc 等の Excel 互換ソフトでは、関数・保護・表示が正常に動作しない場合があります
 - インストール方法 ZIP ファイルを任意のフォルダへ展開し、Excel ファイルを開いてご利用ください。
 - アンインストール方法 展開したフォルダを削除してください。

はじめに

この度は、個人事業主向け帳簿 Excel システム「Capella」をダウンロードいただき誠にありがとうございます。

この説明書は、Polaris の周辺システムとして作成した「Capella」の説明書となります。

Polaris の仕訳帳へ記載する金額は税抜き価格を想定しています。

この Capella では、税込価格を本体価格と消費税額へと分けるシステムです。

ご利用前に、本説明書の内容をご確認いただき、各シートの役割や入力方法をご確認ください。

本システムが、日々の帳簿管理や青色申告作業のお役に立てれば幸いです。

【共通】

1. スペックに関して

Excel2016/2019 で動くことを目指し作成しました。又、マクロは使用されていません。

2. 使用方法

シート：[消費税変換表]へ税込価格を入力することによって

- ・ 本体価格

- ・ 消費税額

へ分離します。

3. 入力に関して

データを入力するにあたり、基本的に入力可能なセル以外は編集できないようになっています。(薄い黄色のセルへ入力となります)

※金額の数値入力は、半角数字（アラビア数字）で入力して下さい。

※税率 No.に関しては、プルダウンを採用していますので▼をクリックして対象を選んでください。

4. コピーに関して

Capella では、シート：[消費税変換表]に出力されたデータを、Polaris のシート：[仕訳帳]へコピーして使用できます。

コピーする際は、Capella の水色のセルのみをコピーし、Polaris の入力用の薄黄色セルへ貼り付けてください。

5. コピー&ペーストに関して

Capella は、Excel システムなのでコピー&ペーストでデータを貼り付けることができます。

ですが、コピー&ペースト時に位置がズレて関数が壊れる可能性がある為、貼り付け時は位置に注意してください。

6. バックアップに関して

Capella は Excel システムです。

コピー&ペーストやセル編集により、関数や参照が壊れる可能性があります。

また、初期状態のブックを「フォーマット用」として保存しておくことを推奨します。

【消費税変換表】一要入力ー

1. シート：[消費税変換表]は、入力した税込価格を本体価格、消費税額へ分離するシートです。

2. 税率 No.・税率・税率係数に数字が入っていること、入力する税込価格が上部の税率とあっている事を確認してください。

3. 税率はシート：[消費税税率マスター]にて追加、変更が可能です。

※【消費税税率マスター】の項目にて説明

4. 税込価格の列に、金額を入力してください。

5. 本体価格、消費税の列にそれぞれ分離された金額が表示されます。

6. 計算内容

本体価格 = 税込価格 $\times$ 100 $\div$ (100 + 税率)

(円未満切捨て)

消費税 = 税込価格 - 本体価格

【消費税税率マスター】一要入力ー

1. シート：[消費税税率マスター]は、税率 No.・税率・税率係数を登録するシートです。

2. 現状の消費税 10% 8%を登録していますが、将来的に消費税の税率が変更があった場合、薄い黄色のセルに税率を入力して、税率の追加、修正を行ってください。

3. 税率変更を行わない場合は、触らないようお願いします。

【免責事項】

本システムは帳簿作成補助システムです。

会計・税務判断については、税理士・税務署等へご確認ください。